

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	1	各ユニットの理念は、以前のものを見直し全職員で話し合い作り上げた理念ではあるが、イメージしづらい表現であり、理念に基づいたケアの提供に向けて全職員に浸透するには至っていない。	全職員がわかりやすく、また、理念をイメージしてすぐにケアに取り組める様、作り直す。	理念の必要性を各職員が認識する様、カンファレンスで話し合う。その後、各職員に理念を考えてもらい、カンファレンスで意見交換し、決定する。	2ヶ月
2	35	避難訓練は自施設で年2回行っているが、近隣住民との協力の下ではまだ行えていない。	近隣との協力、消防署職員の協力を得て、避難訓練を実施する事で、協力体制を築く。	運営推進会議で避難訓練の必要性を説明する。地域の消防団や消防署職員へ会議に参加して頂ける様依頼し、避難対策、マニュアルを作成する。できれば避難訓練も実施する。	4ヶ月
3	26	どの入居者の介護計画も似たような計画になっており、個別の介護計画として認識しにくい面がある。	より個別性のある介護計画を作成する。	家族や入居者本人の意向を聞き、カンファレンスで全職員に周知する。また、カンファレンスで各職員から出た意見を反映させ、個別性のある介護計画書を作成する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。